

歴史講演会 掛川藩の終焉と転封松尾藩顛末



陸路を大移動



海路を大移動



今年、掛川藩終焉となり、上総国柴山への転封から数えて百五十年の歳月が経過しました。

なぜこのようなことが起こったのか。時代の運命に翻弄されていった掛川藩士。その後の松尾藩士の人々の苦難な生き様を二点にまとめてみました。

① 新政府から転封を命じられた掛川藩は、その時どのような対応をしたのだろうか。又、残された殿様なき掛川の人々は明治維新を誰がどう対応していったのか。

② 転封後の上総国松尾藩ではどのような城づくりが行われたのか。又、その後の廃藩置県後の殿様だった太田資美の動向や松尾藩士はどうなっていたのか。

平成31年2月24日 (大東北公民館) 佐藤收一著



点歩30 (掛川塾11期生)